

市内の少年剣士が全国大会に出場

第51回全国道場少年剣道大会

7月26日、日本武道館（東京都千代田区）で行われた「第51回全国道場少年剣道大会」の小学生の部に、猪位金学園4年生の岩下慶伍くんが団体戦の次鋒として出場しました。

岩下くんが所属する「森安修道館チーム」は、6月11日に九電記念体育館（福岡市中央区）で行われた「福岡県道場少年剣道大会」で上位に入賞し、出場権を獲得しました。

都道府県予選を突破した528チームが出場した全国大会で、森安修道館チームは見事1回戦を突破。次に臨んだ2回戦では代表戦までもつれましたが、惜しくも敗退しました。

岩下くんは「緊張はしなかったけど、気持ちで負けてしまった。稽古を一生懸命やって鍛え直します」と話しました。



▲全国の舞台でも臆することなく全力を尽くしました



▲参加者からは「楽しかった。来年も続けてほしい」などの声が聞かれました

人と人の 心をつなぐ 踊りの場

盆踊り講習会

7月16日、田川市民会館講堂で「盆踊り講習会」が行われ、26人が参加しました。

今回で18回目となるこの講習会は、地域で催されている盆踊り大会の継承と指導者育成を目的に、平成11年度から開始されたもの。参加者は、講師を務めた藤間勲總さんと木本敦子さんから「炭坑節」や「田川小唄」など6曲の指導を受けながら踊りを練習。中には、休憩時間にもお互いにアドバイスしながら練習に励む、熱心な姿も見られました。

藤間さんは「新しい曲をしっかり覚えましょう」と参加者を励まし、木本さんは「田川の踊りを田川の人にきちんと踊ってほしい」と話しました。

日頃の鍛錬が実を結び田川の名が全国に轟く

全日本武術太極拳選手権大会

7月26日、中原和之さん（桜町）と手島孝一郎さん（伊加利）が市役所を訪れ、7月8日～10日に東京都渋谷区で行われた全日本武術太極拳選手権大会伝統拳術C部門で、初の優勝、準優勝に輝いたことを二場公人市長に報告しました。

伝統拳術の鍛錬のほか食事制限などに取り組んで臨んだ本大会で、中原さんは少林拳、手島さんは大洪拳を華麗に披露し、見事な成績を納めました。幼い頃から一緒に練習してきた2人は、同じ表彰台に立つことができ、感動もひとしお。

右ひざのけがを押して出場し、優勝を果たした中原さんは「今回の成績は後輩の励みになったと思う。今後も鍛錬と指導に力を入れ、みんなで表彰台に上がりたい」と話しました。



▲力強い型を披露する手島さん(左)と中原さん(右)